

令和7年度 児童朝会 講話 特別編

■令和7年 9月22日 №.15 「主1」

ようやく涼しくなって、秋らしくなってきましたね。明日は昼間と夜の時間が同じになる秋分の日ということで、お休みです。

さて、今日は「かなもじ」の続きのお話しではなく「主」というテーマでお話をしようと思います。

「主」は主人公の「しゅ」、とか川の「ぬし」と言ったりします。つまり中心で活躍すること、人に対する文字です。では、学校の主人公と言えば誰でしょう？もちろん、皆さん方「児童」全員です。最近、学校生活で子どもが主人公になってきている場面が増えてきたと思いませんか？どんなときに皆さんのが主人公になっていますか？

それは「授業中」です。実は5年前に文部科学省が「子ども主人公の授業をしなさい」という指示を出してきました。子ども主人公の授業ってどんなのかな？それは、子ども同士が、ペアやグループでつながって、子ども同士で学び合う授業です。例えば、先生に言われなくてもタブレットで調べたり、お友だちと支え合って学んだりすることです。

文部科学省は ①子どもが主人公 の他にも ②子ども同士が聞き合う ③深く考える授業をするように指示をしました。大宮西小では、皆さんがこれらにまじめに取り組んだおかげで、大阪でもこれらが最も進んだ、学校の1つになってきました。だから、最近全国の学校から多くの先生が大宮西小をお手本にしようと、見に来られていますよね。

では、なぜ文部科学省は、子ども主人公の勉強に変えようと思ったのでしょうか？理由は3つあります。

①他の国、世界の学校では30年ぐらい前から子ども主人公の授業になってきています。しかし日本の学校は30年前から変わっていない。そのために、日本の経済もこの30年間発展していないのではとも言われています。そこで世界の学校

と同じように、日本の学校でも子ども主人公の授業をしていこうとなったのです。

②コンピュータが発達して、今までの勉強方法では将来皆さんのが困ることになることが予測されたからなのです。10年後には、今あるお仕事のうち約半分がロボットなどに変わって、なくなるのではと言われています。将来自分のしたいしごとがなくなっているかもしれません。ではどうしたらいいのか。

それは、自分で会社やお店を自分で考えてつくる、社長、店長になるということも一つの解決方法です。みなさんは、どんな会社やお店をつくりたいですか？そのときに必要な力は、自分が主人公になって、自分がやりたいことを考える力なのです。人に頼まれて何かをする力も大切ですが、これからは、自分で考えて、自分の夢をかなえる力も大切になります。

③みなさんは、スポーツやダンス、ゲームなど自分が好きなことを a：人から言われてやりたいですか？ それとも b：自分からすんでやりたいですか？ 当然 b ですよね。学校のお勉強もほぼ同じです。さらに嫌いな教科でも勉強しなくてはいけません。そのとき、自分のためになるのは？ a：人から言われて勉強する b：自分からすんで勉強する 当たり前ですが、人から言われて何かをしてもおもしろくありません。だからそんなときは、さぼったり、怠けたりしがちです。

この3つの理由で、学校の授業を子ども主人公にするようになってきましたのです。さて、皆さんの授業は子どもが主人公になってきていますが、まだそうなっていない時間もあります。朝の登校、朝の会、1～4時間目の授業、給食、お掃除、5、6時間目の授業、終わりの会 さあいつでしょうか？

そうお掃除の時間がこども主人公になていないですね。先生に決めてもらった場所を当番でまじめにがんばっています。もっと楽しくお掃除す

るためには、子どもが主人公になればいいですね。

実は、すでに子どもが主人公でお掃除している学校が富山県にあり、校長先生は堀川小を昨年見に行ってきましたよ。(右画像) どうですか? どこもかしこもピカピカにそうじされていま



した。そうじの時間に、子どもたちはおしゃべりしたり、さぼったりしないで、一人ひとりがまじめにそうじに取り組んでいました。では、子どもが主人公になるお掃除ってどうしたらいいのでしょうか? これを今週のお題とします。ヒント: 掃除をする前に自分の番号を学校の地図にはってました。

今日も最後まで聞いていただき、ありがとうございました。